

第26期 (2007年2月期)

決算報告と経営計画

 株式会社 京 進

 株式会社 京 進

第26期決算報告

 株式会社 京 進

2007年2月期 実績について

全社業績実績

	実績	前年同期	(前年同期比)	予想発表数値	(予想対比)
売上高	12,381 百万円	12,026 百万円	102.9%	12,640 百万円	98.0%
営業利益	388 百万円	995 百万円	39.0%	391 百万円	99.2%
経常利益	355 百万円	975 百万円	36.4%	360 百万円	98.6%
当期純利益	131 百万円	422 百万円	31.1%	157 百万円	83.4%

・生徒数 前年同期比101.0%

売上の伸びが鈍化・人件費が前期比580百万円増加したことにより増収減益に終わった

<新設開校(直営校)>

小中部6校(うち中学入試専門校1校、中国における広州校1校)
個別指導部12校 計18校

2007年2月期 実績について

部門別売上高・生徒数

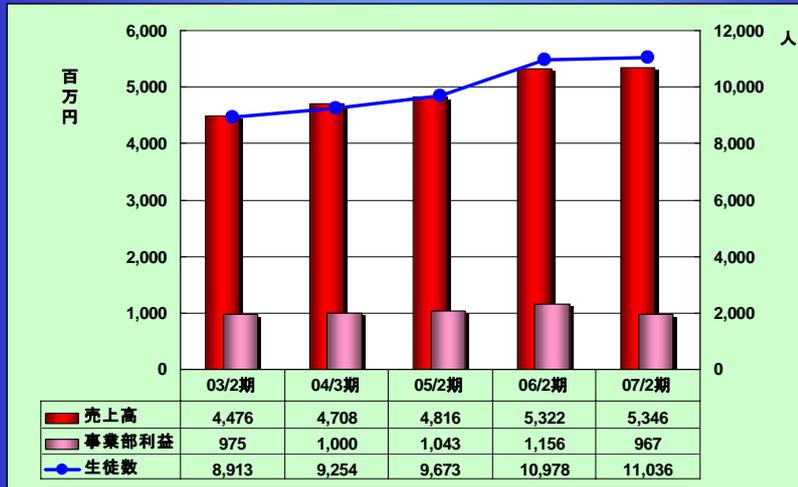
	部門別売上高実績			生徒数		
	実績	前年同期	(前年同期比)	期中平均	(前年同期比)	
教育事業部門	小 中 部	5,346 百万円	5,322 百万円	100.4%	11,036 人	100.4%
	高 校 部	1,316 百万円	1,260 百万円	104.4%	2,695 人	98.8%
	個 別 指 導 部	5,300 百万円	5,037 百万円	105.2%	11,075 人	103.4%
	家 庭 教 師 事 業 部	110 百万円	145 百万円	76.1%	219 人	76.0%
	英 会 話 事 業 部	152 百万円	155 百万円	98.2%	745 人	92.9%
その他の事業部門	154 百万円	104 百万円	147.2%	4 人	-	
計	12,381 百万円	12,026 百万円	102.9%	25,774 人	101.0%	

各部門とも、2005年12月の事件による影響を最小限にすべく努めてくれた。

⇒内部充実を進め、再出発の基礎固めは出来たと思っている。

小中部

小中部実績



個別指導部 京進スクール・ワン

個別指導部実績



FC事業について

FCでの全国展開

FC教室の出店（個別指導教室「京進スクール・ワン」）

	京都	滋賀	大阪	兵庫	奈良	愛知	東京	神奈川	埼玉	千葉	長野	広島	香川	徳島	福岡	熊本	鹿児島	計
2006/2期	2	1	5	1	1	5	5	5	1	2	0	3	1	0	3	1	0	36
2007/2期	3	3	9	1	2	9	8	8	1	2	1	3	2	2	2	1	1	58

<26期開校状況>

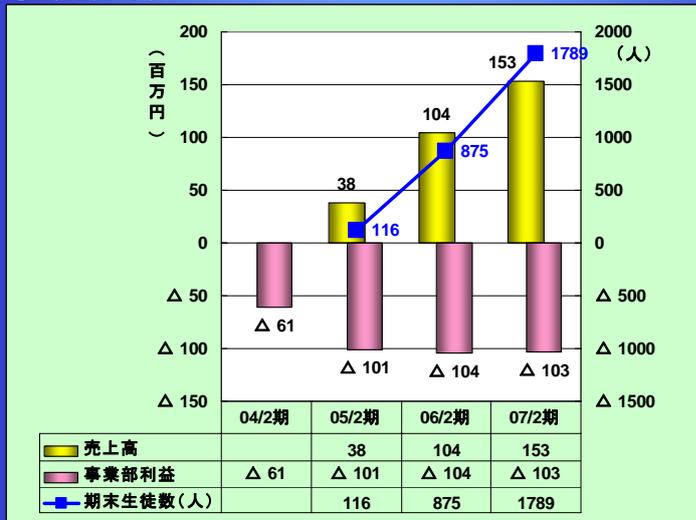
26校新設、1校をFC事業部直営化、2校閉鎖 合計58校へ

<27期開校予定>

40校を新設開校予定

FC事業について

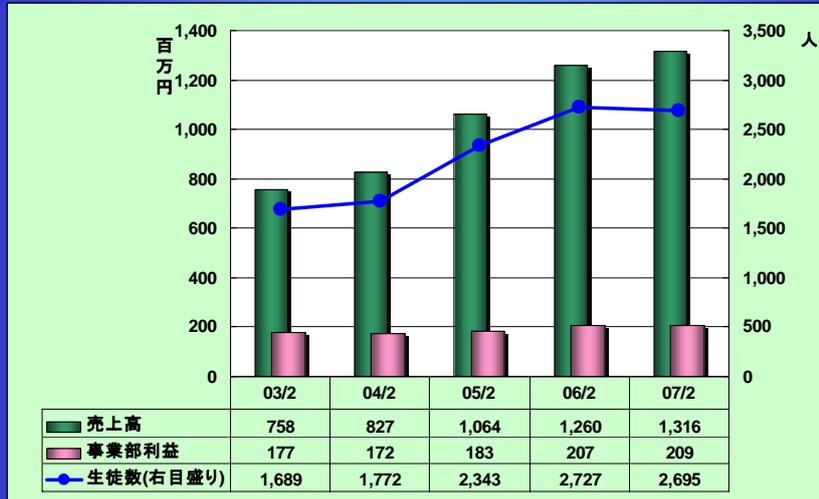
FC事業部実績



組織体制もとのい、基礎が出来てきた

高校部

高校部実績



合格実績（中学・高校入試）

中学入試の大躍進！！



京進生は今年もがんばりました。

喜びの声が続々と入ってきています。

■難関中学に強い！

灘2名、開成3名、ラ・サール20名

洛南高附属、洛星、東大寺学園61名 <前年比165%>

■同立に強い！

同志社中・立命館中139名

<同志社中 75名 前年比142%>

<立命館中 64名 前年比152%>

■愛知難関中学へ241名

東海・滝・南山（男・女）・名古屋・愛知淑徳・海陽

<前年比110%>

東海中 39名<過去最高>

滝中70名

合格実績（中学・高校入試）

高校入試 圧倒的塾別合格数No.1の堅持！！

■洛南高校121名 <9年連続トップ合格者数>

※洛南高校は、17年連続京大合格者No.1の高校

■同立に強い！

同志社系高校159名

立命館系高校173名

<同志社高 121名 定員の134%>

<ラ・サール系高校 16名 前年比160%>



合格実績（中学・高校入試）

私立中高・中高一貫公立校にも強い！

私立中高	07年春
灘・開成・ラ・サール系・東大寺中高	53
洛南中高・洛星中	175
同志社系中高	292
立命館系中高	306
京都女子中高	174
東海・滝中高	153
東山中高	292
私国立中学計	2,217
私立高校計	6,415
国公立高校計	3,634

中高一貫公立中学	07年春	合格占有率
府立洛北高附属中学	25	31.3%
市立西京高附属中学	23	19.2%
県立守山中学	20	25.0%
県立河瀬中学	26	32.5%
県立水口東中学	25	31.3%



合格実績（中学・高校入試）

公立高校実績：地域トップ校での圧倒的シェア

公立高校	07年春	合格占有率	
京都府公立高校Ⅱ類系	280	10.0%	10.0 人に一人が京進生
堀川探究科	45	28.1%	3.6 人に一人が京進生
嵯峨野こすもす科	50	25.0%	4.0 人に一人が京進生
西京エンタープライズینگ科	49	30.6%	3.3 人に一人が京進生
南陽サイエンスリサーチ科	11	27.5%	3.6 人に一人が京進生
桃山自然科学科	22	27.5%	3.6 人に一人が京進生
亀岡数理科学科	4	10.0%	10.0 人に一人が京進生
滋賀県立トップ11校計	1,021	30.4%	3.3 人に一人が京進生
膳所高校	159	36.1%	2.8 人に一人が京進生
彦根東高校	187	51.9%	1.9 人に一人が京進生
石山高校	84	23.3%	4.3 人に一人が京進生
虎姫高校	44	22.0%	4.5 人に一人が京進生
東大津高校	89	22.3%	4.5 人に一人が京進生
守山高校	65	27.1%	3.7 人に一人が京進生
米原高校	101	42.1%	2.4 人に一人が京進生
八日市高校	91	32.5%	3.1 人に一人が京進生
水口東高校	60	25.0%	4.0 人に一人が京進生
草津東高校	78	21.7%	4.6 人に一人が京進生
河瀬高校	63	26.3%	3.8 人に一人が京進生

合格実績（小学入試）

京進ぴれわん第1期生 全員第一志望校合格！！

2007年度小学入試合格速報
合格おめでとう!
私立小学校受験生11名全員第一志望合格!

- 同志社小3名 立命館小6名
- ノートルダム学院小4名

合格実績（大学入試）

すべて現役合格！！

	99年春	00年春	01年春	02年春	03年春	04年春	05年春	06年春	07年春
東大・京大	21	35	45	46	32	33	49	54	45
国公立大	101	145	168	211	212	311	442	537	578
同志社・立命館・関学・関西	190	219	295	325	387	466	630	973	956
京都産業・龍谷・近畿・甲南	141	194	270	300	313	492	616	905	905
総合格者数	789	1,058	1,204	1,468	1,759	2,596	3,126	4,654	5,211

※上記は、高校部ほかオール京進の大学合格実績です。

国公立大学合格者 578名＜過去最高＞

医学部医学科 14名合格

2008年2月期業績見通し

全社業績予想

	通期予想	2006/2期	(前年同期比)	8月中間期予想	(前年同期比)
売上高	13,271 百万円	12,381 百万円	107.2%	6,132 百万円	103.9%
営業利益	433 百万円	388 百万円	111.6%	△ 297 百万円	-
経常利益	371 百万円	355 百万円	104.5%	△ 324 百万円	-
当期純利益	168 百万円	167 百万円	100.6%	△ 326 百万円	-

■新設開校予定数（直営校） 小中部 5校

※個別指導部は、今期、内部充実をさらに進め、翌期からの展開に備えるため、新設開校せず



中国への進出「京進広州校」



平成18年11月に広州校が開校しました。

場所は、広州インターナショナル・トレード・センター22階にあり、日本人が居住する場所の中心です。

自動車業界を始めとする日本の大手企業の中国進出に伴い、日本人学校の生徒も急増の傾向にあります。帰国子女への教育ニーズの高まりもあり、順調な集客(4月段階で85名)が進んでおります。



京都駅前ビル

高校部トップΣ京都駅前校では、
現役高校生の大学合格実績への
評価をいただき、
第4分校まで設置するほどの
生徒数になっています。

現在、京都駅前に、
収容人数1,000名規模の
専用自社ビルの建築を進めています。

竣工は今秋を予定しており、
より多くの高校生への
教育サービス提供が可能となります。



社会貢献

■海外支援活動

平成11年から続けているミャンマーへの聾唖学校への支援について、今年は、古くなった職業訓練施設の機器類を新しくするための寄付を行いました。多くの聾唖学校の生徒たちが社会で活躍できるための支援を、今後も続けてまいります。

■「こころを育てる本気の生活指導」

平成19年2月4日、原田隆史先生を招いて、保護者対象の教育講演会を開催し、300名を超える参加者がありました。原田先生は、無名の公立中学校陸上部を「7年間で13回の日本一」の常勝チームに育て上げた方です。原田先生が提唱される「主体性をもって物事に取り組むことができる自立型人間を育成する」という考えは、当社の教育理念に通じるものです。京進でも、「こころを育てる」本気の生活指導が子どもたちの学力を大きく伸ばす基本であると考え、その取り組みをシステムとして構築できるよう準備中です。

社会貢献

■希望の義足

平成19年4月8日、NGO法人「ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト（以下、「ワンラブ」）の代表を招き、講演会を行いました。「ワンラブ」は、アフリカのルワンダ共和国で義肢(義足)製作所を開設し障害を持つ人びとを支援し続けている組織です。講演会では、虐殺から13年が経ち、復興へ向けて努力を続けるルワンダの現在と、「ワンラブ」の活動を、広く紹介しました。京進では、昨年各校の貸し出し図書に、「ワンラブ」の活動を紹介した『希望の義足』を設置しています。(書籍購入費から一定額が自動的に寄付されます。)



ルワンダ共和国では、平成6年に起こった大虐殺のために100万人以上の人たちが殺され、80万人が精神的、肉体的に障害を負いました。現在、ルワンダの戦争は終結し、政府や人びとが力を出し合って復興に向けて取り組んでいます。ワンラブのNGO活動は、「アンビリバボー」や「プロジェクトX」等のメディアでも紹介されています。

安全対策についての取り組み

施設・設備などのハード面における安全対策はすべて完了し、日報での報告・データベースでの情報共有も、日々、運用されています。

今後、最も注力して進めていくのは、ソフト面での安全対策です。特に今年は、全従業員への研修の充実、防犯・防災、救命・救急の訓練等を重点課題として取り組みます。

昨年までの取り組み

「危機・察知能力向上研修」

- 校長等に対して、カウンセリング方法、感受性訓練、コミュニケーション能力の向上を図るための実習研修を実施
- 全従業員に対し、臨床心理士作成の京進オリジナルのプログラムによる講義研修を実施

- 内容①「ストレスマネジメント」
②「心理的危機のサイン」
③「対人トラブルと対処法」
④「カウンセリング」

安全対策についての取り組み

27期からの従業員研修について

3年計画でEAP(Employee Assistant Program/従業員支援プログラム)体制をつくり、従業員の心のケア、問題発見と解決を徹底

<27期内容>

ストレスチェックの実施と結果のフィードバック	全従業員対象。結果とコメントにより自分自身の心の状態を知ってもらう。
カウンセリングスキルの再講義研修	全従業員対象。26期の再学習を行う。内容は、「ストレスマネジメント」「心理的危機のサイン」「対人トラブルと対処法」「カウンセリング
こころづくりルーティン	全従業員対象。自立型人間育成によるメンタルヘルス向上を目指す活動を行う。
メンタルヘルス研修	校長等対象。臨床心理士による研修会。26期の内容をより実践的にした内容で行う。

28期以降の予定

- メンタルヘルス・コンサルテーション
部下のメンタルヘルスに関する対処法を、臨床心理士に個別相談できる体制づくり
- 一般相談窓口の提供
社内カウンセラーの養成と、従業員からのカウンセリング窓口を設置
- 家族をふくめたEAP体制づくり
- 職場復帰支援プログラムの作成
- 医師や弁護士等との外部ネットワーク構築

中長期経営計画

中期基本方針

基本指針

1. 「日本一、安心・安全・信頼できる」学習塾の評価を得る
2. 最大の顧客満足要因であり、京進の強みである「合格実績」にこだわり、近畿・愛知における重点校でトップレベルの合格者数を実現する
 - 2年後（28期） 同志社系・立命館系中学で340名
 - 4年後（30期） 洛南附属中学・洛星中学で150名
 - 高校、大学入試においても重点校の合格数を増やす

中期基本方針

基本指針

3. 「学力と人間性の向上」の観点から、挨拶・躰をはじめ「生活指導」を強化し、自立型人間を育成して、ブランド力を高め、競争優位を発揮する
4. まず、**学習塾で日本一を目指し**
個別指導では、直営教室とFC教室が連携をとりながら、全国に向けて規模的な拡大を図る
 - 5年後（31期） 直営教室260 FC教室500
計760教室を目指す

中期基本方針

基本指針

5. 将来における教育総合企業で日本一を目指すために、**新たな事業分野**を開拓し、成長基盤を形成する
6. 3年後（29期）売上166億円、経常利益16.6億円
5年後（31期）売上200億円、経常利益24.0億円
を目指す

基本戦略

■CS戦略

- ①「安全・安心」で地域No.1
- ②合格実績で地域No.1～近畿・東海でトップレベルの実現
- ③新たな価値提供によって地域一の評価を得る塾へ
挨拶、躰、生活指導を顧客満足の大きな柱とする

■出店戦略

「京進スクール・ワン」による出店と
東海地域でのシェア拡大

基本戦略

■CSR戦略

- ①地域との協力を前提にした安全・安心への取り組み
- ②教育講演会等を通じ、地域に対する教育情報発信を実現
- ③従業員の自主的・自発的な社会貢献活動の環境作り
- ④発展途上国での大学設立に向けての準備

■人材戦略

- ①ES向上と、自主的・自発的に働く組織風土の形成
- ②勤務環境の改善、女性の活躍支援
- ③経営者の育成、研修の充実

基本戦略

■ 新規事業戦略

- ① 学習塾で日本一を実現するための新たな独自能力形成
- ② 新規事業の立上げ
 - ・ 27期 「京進これから研究所」の設立
 - ・ 27期 「家庭教育支援事業」へ参入

■ 海外戦略

中国広州に続き、展開の準備を進める

第27期 単年度方針

第27期単年度方針

基本方針 「質にこだわる。集まる塾へ。」

- ①「本気の教育」で自立型人間を育てる
- ②安全対策の強化、教務力と経営品質の向上、顧客と従業員の満足で日本一を目指す

2005年12月の事件以来、多くの困難がありました。全従業員が一つ一つのことに誠実に対応し、生徒・保護者を始め、社会の信頼を得るために取り組んでくれました。

しかし、まだ完全に回復したわけではありません。安全への取り組みは、年月が経つと風化しやすく、忙しさにかまけて、ついつい手抜きされ易いものです。日々の安全への配慮、取り組み、また、察知能力向上への研修等を通じて、二度と事件を発生させない風土を作り上げていきたいと思い、決意を新たに安全への取り組みをさらに高めてまいります。

第27期単年度方針

■「本気の教育」で自立型人間を育てる 専門家による「本気のプログラム」を 業界に先駆けて導入予定

- ◎生徒の「生活指導」を行う。
- ◎達成体験の積み重ねで自信をつける⇒学力の向上
⇒顧客満足度向上を図るための従業員満足向上
- ◎従業員も「本気のプログラム」で自己の生活習慣改善
- ◎目標達成のための自己計画と、自己成長

■安全対策の更なる進化

- リスクマネジメントの専門家による体制強化
- ◎再発防止、未然防止に向けた体制強化と企業風土醸成

第27期単年度方針

■ 経営品質の向上

社外アセッサーによるアセスメントと現地審査

◎第三者の客観的評価を受け、さらに経営の質を高める

■ 「京進これから研究所」設置

さまざまな大学の教授や、教育機関と連携

◎新たな教育関連情報の収集、新規事業のシーズの探索

■ 組織能力の向上

「社内経営大学」の開催

◎社外の専門家による、経営者育成（2年目）

新たな飛躍のために、組織価値観の見直しを行いました

